

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	研究テーマの設定 ・定められたテーマに沿った研究課題を設定する。	生徒自らが簿記会計に関する適切な課題を設定する。 ビジネスに関する情報を入手し、思考ツール等を活用することで分析する。 これまでの知識・技術を活用するなどして探求の質の向上を図る。	適切な課題を設定できているか。 自発的学習を進めているか。 適宜活動報告書を提出できているか。	○	○	○	10
	調査・研究・実験 ・テーマに対する疑問に基づき、仮説を立て、検証する方法を考える。	仕訳や決算、伝票や本支店会計など、簿記会計に関する情報を分析し、より高度なレベルの問題に挑戦する。 これまでの知識・技術を活用するなどして探求の質の向上を図る。	適切なビジネスツール等を活用できているか 課題解決に向けた資料の収集や活用方法について理解しているか。 適宜活動報告書を提出できているか。	○	○	○	26
2 学 期	日商簿記に挑戦 ・全商簿記で学んだ知識を生かして日商簿記の問題を解く。	必要に応じてグループワークをおこない理解の定着を図る。	本質を理解するために実際の企業活動を想像し各取引について適切な処理ができるよう考えているか。 計画的に学習の日程を立て、自己管理しながら実行できているか。	○	○	○	21
	作品制作	これまでの学習の内容を踏まえて、研究報告書を作成し、学習成果発表会に向けてプレゼンテーションスライドの作成等、プレゼン準備に取り組む。	調査や思考の結果を吟味・評価し、グラフや数式を使いながら考察して、研究の成果をまとめられているか。	○	○	○	21
3 学 期	発表	学習成果発表会に向けて取り組む。	学習の結果を吟味・評価し、グラフや数式を使いながら考察して、研究の成果をまとめられているか。 相手に分かりやすい図や表を考えたり、様々なツールを使いこなしているか。	○	○	○	27
							合計
							105

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・デザイン作成に関する基礎的知識を身につける。 ・プロが使うデザインツールであるグラフィックソフトウェア（Adobe Illustrator, Photoshop）および映像制作ソフト（Adobe Premiere Pro）の機能、ツールの使い方を身につける。	・デジタル広告、WEBサイト、静止画バナー、プロモーション動画、キャラクターデザイン等をデジタル技術を活用して制作・創造する。 ・単なる制作にとどまらず、マーケティングの視点を持ってクライアントのニーズやデータ（ターゲット、競合、過去の成果）を分析し、最適な方法でメッセージを伝え、広告成果の最大化を目指す。	・授業を休まず誠実かつ意欲的な姿勢で取り組む。 ・共同制作作業に臨む協調性と研究成果を追求する探究心を育成する。

[illegible]

教 科 : 商業 科 目 : 課題研究 単位数 : 3 単位
対象学年組 : 第 3 学年 A 組 ~ E 組
使用教科書 : (無し)
教科 商業 の目標 :

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
パーソナルファイナンスに関して、基礎的な知識を学び身に付け、自ら課題を設定し、調査・実験・研究方法に関わる知識を身に付ける。調査・実験などを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付ける。	自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を養う。	課題研究に関心をもち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. オリエンテーション 2. パーソナルファイナンスの基礎知識習得 3. ライフプランの基礎知識 4. 自らのライフプランの課題設定 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	1. オリエンテーション ・ パーソナルファイナンスとは何か？ ・ パーソナルファイナンスの必要性 ワークシート、レポート提出 2. パーソナルファイナンスの基礎知識習得 ・ お金を稼ぐ ・ お金を使う ・ お金を貯める増やす ・ お金を借りる ・ お金を備える ワークシート、レポート提出 3. ライフプランの基礎知識 ・ ライフイベント表 ・ キャッシュフロー表 ワークシート、レポート提出 4. 自らのライフプランの課題設定 ・ 各自で調査、実験、研究のテーマを決める ・ 予備調査実施す ・ 調査方法や分析方法の検討 ・ 研究計画の立案 ワークシート、レポート提出	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	4
				○	○	○	15
				○	○	○	15
				○	○	○	6
2 学 期	5. 調査研究 6. 発表準備及び発表 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	5. 調査研究等 ・ 自らが立案した研究計画に沿って調査研究 ・ 必要な資料、データを分析 ・ 研究の進捗、到達度の確認と自らの取り組みに対する自己評価を行う ワークシート、レポート提出 6. 発表準備及び発表 ・ 研究を振り返り、研究テーマと自らの研究課題についてまとめ、発表に備える(内容整理、発表用資料作成) ・ 研究課題について、作成資料を利用して発表	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	30
				○	○	○	10
3 学 期	7. レポートの提出 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	7. レポートの提出 ・ 自分の研究課題を論理的に考察し、レポート作成	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	25
							合計 105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究

教科：商業 科目：課題研究 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～ E組

使用教科書：（なし）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会人として必要なビジネスマナーの基本的な知識を身につけ、円滑な対人関係、コミュニケーション力等を養い、敬語の使い方や挨拶、身だしなみ、電話・訪問応対、ビジネス文書作成等の技能を身につける。 自ら課題を設定し、調査・研究方法に関わる知識や調査のデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身につける。	相手の立場に立って物事を考え、状況を的確に把握して最適解を導き、それを適切な言葉や態度で伝える力を養う。 自らの課題や興味に合わせて具体的なテーマを設定し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を養う。	ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を養う。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. オリエンテーション 2. 必要とされる資質 3. 職務知識 4. 一般知識 5. マナー・接遇 6. 技能 【知識及び技能】 社会人として必要なビジネスマナーの基本的な知識を身につけ、円滑な対人関係、好感を与えるコミュニケーション力等を養い、敬語の使い方や挨拶、身だしなみ、電話・訪問応対、ビジネス文書作成等の技能を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場に立って物事を考え、状況を的確に把握して最適解を導き、それを適切な言葉や態度で伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を養う。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	1. オリエンテーション ・ビジネスマナーで学ぶ内容 ・秘書技能検定について 2. 必要とされる資質 ・秘書の心構え ・要求される資質 3. 職務知識 ・秘書の機能と役割 ・職務上の心得と仕事の進め方 4. 一般知識 ・企業の基礎知識 ・社会常識 5. マナー・接遇 ・人間関係と話し方、聞き方 ・敬語と接遇用語 ・電話応対、接遇 ・交際 6. 技能 ・会議 ・文書の作成 ・文書の取り扱い ・資料管理 ・日程管理、オフィス管理	【知識及び技能】 社会人として必要なビジネスマナーの基本的な知識を身につけ、円滑な対人関係、好感を与えるコミュニケーション力等を養い、敬語の使い方や挨拶、身だしなみ、電話・訪問応対、ビジネス文書作成等の技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場に立って物事を考え、状況を的確に把握して最適解を導き、それを適切な言葉や態度で伝える力を身につけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を身につけることができる。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけることができる。	○	○	○	38
2 学 期	7. 研究テーマ決定 8. 調査研究 9. 発表準備・発表 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査・研究方法に関わる知識や調査等のデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題や興味に合わせて具体的なテーマを設定し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を養う。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	7. 研究テーマ決定 ・各自で研究の対象となる研究テーマを決める ・予備調査を実施する ・調査方法や分析方法などの検討 ・研究計画の立案 8. 調査研究 ・自らが立案した研究計画に沿って調査研究を行う ・必要な資料、データの分析 9. 発表準備・発表 ・これまでの研究を振り返り、発表に向け研究内容を整理する ・研究全体を通して明らかになったことを発表する ・各自の研究テーマについて調査、研究した内容を具体的にわかりやすく発表する	【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査・研究方法に関わる知識や調査等のデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題や興味に合わせて具体的なテーマを設定し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身につけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を身につけることができる。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけることができる。	○	○	○	47

3 学 期	1 0. レポートの提出 【知識及び技能】 自らの課題を設定し、調査・研究方法に関わる知識や調査等のデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題や興味に合わせて具体的なテーマを設定し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を養う。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	1 0. レポートの提出 各自のテーマを自ら進んで論理的に考察し、レポートを作成する	【知識及び技能】 自らの課題を設定し、調査・研究方法に関わる知識や調査等のデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身につけることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題や興味に合わせて具体的なテーマを設定し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身につけることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスマナーの目的を理解し、自らの意志でマナーや知識を習得し、実践・改善する姿勢を身につけることができている。 自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけることができている。	○	○	○	20
	合計						
	105						

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 商業 科目 課題研究

教 科： 商業 科 目： 課題研究（国際理解） 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 無し ）

教科 商業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】異文化について体系的、系統的に理解するとともに、関連する知識を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】国際社会に関する課題を発見し、現代人に求められる倫理観を踏まえ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、発展的、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。社会人として必要な知識を養う。	自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとする。 また、社会問題に対する思考力・判断力を養う	いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとする。自ら異文化に関心を持って課題設定をし、その解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1. オリエンテーション 本講座の内容説明	1. オリエンテーション 年間の学習目標設定	【知識・技能】説明の理解度 【思考・判断・表現】自らの学習目標設定	○	○		2
	2. 研究テーマ確認 【知識及び技能】 自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。社会人として必要な知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとする。 また、社会問題に対する思考力・判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとする。自ら異文化に関心を持って課題設定をし、その解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	2. 研究テーマ設定 ○「世界がもし100人の村だったら」「貿易ゲーム」等を使って、地球の課題：人口・食料・水・エネルギー・格差・紛争について、各自が興味・関心のあるテーマを設定	【知識・技能】 自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。社会人として必要な知識を養うことができたか。 【思考・判断・表現】 自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとしたか。 また、社会問題に対する思考力・判断力を養うことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとすることができたか。自ら異文化に関心を持って課題設定をし、その解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	38
2 学 期	3. 研究テーマ確認 【知識及び技能】 自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。社会人として必要な知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとする。 また、社会問題に対する思考力・判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとする。自ら異文化に関心を持って課題設定をし、その解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	3. 研究テーマ設定 ○「お弁当屋さんゲーム」「難民ワークショップ」等を使って、地球の課題：人口・食料・水・エネルギー・格差・紛争について、各自が興味・関心のあるテーマを設定	【知識・技能】 自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。社会人として必要な知識を養うことができたか。 【思考・判断・表現】 自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとしたか。 また、社会問題に対する思考力・判断力を養うことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとすることができたか。自ら異文化に関心を持って課題設定をし、その解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	50
3 学 期	4. レポート作成指導・発表	4. レポートの提出・発表 ・自分の研究課題を総合的に振り返り、レポートを作成。発表する。	【知識・技能】 自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。社会人として必要な知識を養うことができたか。 【思考・判断・表現】 自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとしたか。社会問題に対する思考力・判断力を養うことができたか。 研究したことをきちんと発表することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとすることができたか。自ら異文化に関心を持って課題設定をし、その解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	15
							合計
							105

高等学校 令和 8 年度（3 学年用）教科 商業 科目 課題研究			
教 科： 商業	科 目： 課題研究	単位数： 3	単 位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組 国内外の企業研究			
教科 商業	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	商業の各分野について体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
科目 課題研究	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における事例など実際の財政状態を考察し、ビジネスの様々な場面で役に立つ経営分析に関する知識と技術を身に付けている。	変化に富む経済社会にあつて、東証プレミアム市場をはじめとした様々な企業の流動性やガバナンス水準、経営成績や財政状態を把握し、知識、技術などを活用した、経営分析を行う。企業の課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を考える。顧客についての理解、市場の動向、経営分析に関する理論、データ、成功事例を学び、改善を要する事例など財務的な根拠に基づいて経営分析を行う。	様々な企業に興味を持ち、自ら財政状態、経営成績、ガバナンス水準、戦略を調べる態度を身に付ける。調べた企業の課題を改善する方策を考察し、責任を持って改善する手法を編み出す努力をする。レポート作成への取り組み姿勢が、丁寧かつ積極的であること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. オリエンテーション 2. 研究テーマ設定 Introduction ・財務分析の目的と方法 ・決算書の読み方 ・安全性の分析 ・収益性の分析 ・レポートの書き方 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・経営分析の目的の理解 ・分析に必要な最低限の指標の理解とその算出方法 ・財務資料の収集方法と企業活動の分析と考察方法 ・資料の収集方法 ・論文とレポートの違いとその書き方 1. オリエンテーション 「課題研究」で学ぶ内容について説明、目的を共有する 2. 研究テーマ設定 ・各自で調査、実験、研究の対象となる研究テーマを決める ・予備調査を実施する ・調査方法や分析方法などについて検討し、どのように研究を進めていくかを計画する ・自らが立案した研究計画に沿って調査、研究を行い、課題について探求する ・一人1 台端末の活用	・数字の算出方法だけでなく、その指標の持つ意味を丁寧に説明する。 ・特に安全性と収益性の分析について強調して指導する。 ・資料の読み込み方と判断について、十分に指導を行う。 【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	20
	3. 1 学期研究テーマの発表 4. 1 学期研究成果の推敲 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	3. 1 学期研究テーマの発表 各自のテーマについて、予備調査の分析結果、調査した内容から具体的にわかりやすく発表できるように準備をし、発表する 4. 1 学期研究成果の推敲 1 学期の調査、研究結果の課題を把握し、改善する ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	18

2 学 期	・事業分野の違いによる財務構成の違いについて ・各業種の特徴分析 ・優良企業の財務分析 ・倒産企業の事例研究 ・粉飾決算の事例研究 ・研究課題レポート作成 ・全商財務分析検定 5. 調査研究 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・生活に身近な企業の財務諸表を、企業間比較、時系列分析などの手法から特徴を把握できるように学習を進める。 ・事業分野の違いによる財務構成の違いを財務分析から把握する。 ・優良企業、斜陽企業、倒産した企業の経営分析を行う。 5. 調査研究 ・自らが立案した研究計画に沿って調査研究を行う ・必要な資料、データを精選し分析を行う ・研究の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行う ・一人1台端末の活用	・数値のみの指導ではなく、現代企業を取り巻く様々な財務に関する諸問題と、各業種の経営上の特徴について考察できるように指導を行う。 ・生徒のレポート指導は、進捗状況を定期的に報告させ、適宜個別指導を行う。 【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。	○	○	○	20
	6. 調査研究・発表準備 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	6. 調査研究・発表準備 ・自らが立案した研究計画に沿って調査研究を行う ・必要な資料、データを精選し分析を行う ・研究の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行う ・これまでの研究を振り返り、発表に向け研究内容を整理する ・研究テーマと毎時の課題についてまとめ、発表に備える ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。	○	○	○	18
	7. 研究成果の発表 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	7. 研究成果の発表 ・研究全体を通して明らかにしたことを発表する ・各自の研究テーマについて調査、研究した内容を具体的にわかりやすく発表する ・聞き手を意識する工夫をする ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。	○	○	○	9
	8. レポートの提出 ・研究発表 ・1年間の総まとめ 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。	8. レポートの提出 各自のテーマを自ら進んで論理的に考察し、レポートを作成する ・プレゼンテーションの技術 質疑応答の仕方等について ・卒業後の研究の行い方等について	・発表の方法や、他者の発表に対して質問ができるようにする。 ・各自の研究課題を更に深められるようにする。 【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。				

3 学 期	通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・卒業後の研究の行い方等について ・一人1台端末の活用	験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	20
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 商業 科目 課題研究

教 科： 商業 科 目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 世界一楽しい決算書の読み方 ）

教科 商業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
レポートの作成技術を身につけるとともに、文章にてまとめる力と伝える力を養う。	発表資料を作成する技術を身につけると共に、プレゼンテーションで他者に伝えることができる。	研究テーマについて、1年間通して主体的かつ協働的に調査・研究に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	研究テーマの設定 ・定められたテーマに沿った研究課題を設定する。	生徒自らが財務諸表分析に関する適切な課題を設定する。 ビジネスに関する情報を入力し、思考ツール等を活用することで分析する。 これまでの知識・技術を活用するなどして探求の質の向上を図る。	適切な課題を設定できているか。 自発的学習を進めているか。 適宜活動報告書を提出できているか。	○	○	○	10
	調査・研究・実験 ・テーマに対する疑問に基づき、仮説を立て、検証する方法を考える。	EDINETやその他の書籍等を用い、財務諸表に関する情報を入力し、思考ツール等を活用することで分析する。 これまでの知識・技術を活用するなどして探求の質の向上を図る。	適切なビジネスツール等を活用できているか。 課題解決に向けた資料の収集や活用方法について理解しているか。 適宜活動報告書を提出できているか。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		
2 学 期	産業現場等における実習 ・実習を通して作品制作に必要な一次情報を収集する。	必要に応じて地域・企業等と連携する。 第一次情報やアドバイスをいただく。	問題解決のための実験・観察・調査の方法を考案し、それを計画・日程に従って自己管理しながら実行できているか				21
	作品制作	これまでの調査研究の内容を踏まえて、研究報告書を作成し、学習成果発表会に向けてプレゼンテーションスライドの作成等、プレゼン準備に取り組む。	調査や思考の結果を吟味・評価し、グラフや数式を使いながら考察して、研究の成果をまとめられているか				21
3 学 期	発表	学習成果発表会に向けて取り組む。	調査や思考の結果を吟味・評価し、グラフや数式を使いながら考察して、研究の成果をまとめられているか 相手にに分かりやすい図や表を考えたり、様々なツールを使いこなしているか				27
							合計 105

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
興味・関心のある時事問題を選び、深く研究することにより、社会的な知識や技能を身につける。	時事問題を研究し、プレゼンテーションを行うことにより、他者に対してわかりやすく伝えることができる能力を身につける。	1年間を通して、興味・関心のある時事問題を数回選び、各研究テーマについて、主体的かつ協働的に調査・研究に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 オリエンテーション 自己紹介 2 研究テーマ設定 【知識及び技能】 時事問題を研究することにより、 社会人として必要な知識を養う。	1 研究テーマ設定（年複数回） 各自が興味・関心のあるテーマを 設定 プレゼンテーションを行い相互評 価を実施 2 研究テーマの内容をドキュメ ント化しレポートとして提出	【知識・技能】 時事問題を研究することにより、社会人として の必要な知識を身につけることができた か。	○	○	○	10
	【思考力・判断力・表現力】 時事問題を研究し、プレゼンテー ションを行うことにより、表現力 を、また、社会問題に対する思考 力・判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら時事問題に関心を持って、課 題設定を行い、その解決に向けた 努力を主体的かつ協働的に取り組 む態度を養う。	【思考・判断・表現】 時事問題を研究し、プレゼンテー ションをすることにより、表現力を、また、社会問題に 対する思考力・判断力を身につけることがで きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 時事問題に関心を持ち、自ら進んで課題設定 を行い、課題解決に向けた努力を主体的かつ 協働的に取り組む態度を身につけることがで きたか。	○	○	○	26	
2 学期	1 研究テーマ設定 【知識及び技能】 時事問題を研究することにより、 社会人として必要な知識を養う。	1 研究テーマ設定（年複数回） 各自が興味・関心のあるテーマを 設定 プレゼンテーションを行い相互評 価を実施 2 研究テーマの内容をドキュメ ント化しレポートとして提出	【知識・技能】 時事問題を研究することにより、社会人として の必要な知識を身につけることができた か。	○	○	○	21
	【思考力・判断力・表現力】 時事問題を研究し、プレゼンテー ションを行うことにより、表現力 を、また、社会問題に対する思考 力・判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら時事問題に関心を持って、課 題設定を行い、その解決に向けた 努力を主体的かつ協働的に取り組 む態度を養う。	【思考・判断・表現】 時事問題を研究し、プレゼンテー ションをすることにより、表現力を、また、社会問題に 対する思考力・判断力を身につけることがで きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 時事問題に関心を持ち、自ら進んで課題設定 を行い、課題解決に向けた努力を主体的かつ 協働的に取り組む態度を身につけることがで きたか。	○	○	○	21	
3 学期	1 研究テーマ設定 【知識及び技能】 時事問題を研究することにより、 社会人として必要な知識を養う。	1 研究テーマ設定（年複数回） 各自が興味・関心のあるテーマを 設定 プレゼンテーションを行い相互評 価を実施 2 研究テーマの内容をドキュメ ント化しレポートとして提出	【知識・技能】 時事問題を研究することにより、社会人として の必要な知識を身につけることができた か。	○	○	○	27
	【思考力・判断力・表現力】 時事問題を研究し、プレゼンテー ションを行うことにより、表現力 を、また、社会問題に対する思考 力・判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら時事問題に関心を持って、課 題設定を行い、その解決に向けた 努力を主体的かつ協働的に取り組 む態度を養う。	【思考・判断・表現】 時事問題を研究し、プレゼンテー ションをすることにより、表現力を、また、社会問題に 対する思考力・判断力を身につけることがで きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 時事問題に関心を持ち、自ら進んで課題設定 を行い、課題解決に向けた努力を主体的かつ 協働的に取り組む態度を身につけることがで きたか。	○	○	○	合計 105	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究

教科：商業 科目：課題研究 単位数：3 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組
教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付ける。	自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を養う。	課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. オリエンテーション 2. 経営理念創出、体制協議 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	オリエンテーション ・自己紹介 経営理念創出、体制協議 ・役割分担 ・年間活動スケジュール 自己紹介を通じて、相手から情報を聞き出す力を身に付けさせる。 また、授業の取り組み方、評価について確認する。 芝翔の経営理念を考えさせる活動により、学習の目的を明確にして、簡潔に伝える（まとめる）力を身に付けさせる。	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	21
	3. イベント参加 【知識及び技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	イベント参加 ・ふれあい祭りだ、芝地区！ ・竹芝夏ふえす 参加内容確認→プラン作成 ・しばみつ 連携内容のプランを作成 話し合いやスケジュール管理、役割分担など、出展までに必要な一連の流れを経験させる。また、調べ学習や地域担当者などとのコミュニケーション活動を通じて、他者とのかかわりを学ばせる。	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	18

2 学 期	3. イベント参加	イベント参加 ・竹芝夏ふえす 参加内容確認→プラン作成 ・しばみつ 連携内容のプランを作成 話し合いやスケジュール管理、役割分担など、出展までに必要な一連の流れを経験させる。また、調べ学習や地域担当者などのコミュニケーション活動を通じて、他者とのかかわりを学ばせる。	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	45
	3. イベントの参加 4. 活動報告会	イベント参加 ・卒業式（記念品の提案） ・竹芝音楽祭 活動報告会 模擬株式会社芝翔株主総会 発表資料&プレゼンテーション準備 話し合いやスケジュール管理、役割分担など、出展までに必要な一連の流れを経験させる。また、調べ学習や地域担当者などのコミュニケーション活動を通じて、他者とのかかわりを学ばせる。	【知識・技能】 自ら課題を設定し、調査方法、実験方法、研究方法に関わる知識を身に付け、調査・実験などのデータを通して研究の仮説に対する実証と考察を行う技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自らの課題について、問題解決のための計画を検証し、よりよい方法を探る努力をし、収集した情報を正しく精査し判断材料とする力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	○	○	○	21
3 学 期							合計
							105

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 商業 科目 課題研究

教科： 商業 科目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 無し ）

教科 商業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	情報分野について、過年度までに学んだ基礎をもとに応用・発展的な知識と技術を身に付けるため、自ら課題を設定し取り組んでいく。	自らの課題について問題解決のための計画を立案し、実際に学習を進めていく。自身でよりよい方法を探る努力をし、結果を判断・検討する。	課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題設定をし、課題解決に向けた努力を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. オリエンテーション 本講座の内容説明	1. オリエンテーション 年間の学習目標設定	【知識・技能】説明の理解度 【思考・判断・表現】自らの学習目標設定	○	○		2
	2. 日本情報処理検定協会主催情報 処理検定表計算上位資格の研究 準1級→1級までの知識・技術の 習得	2. 表計算ソフトの応用関数の活用 について指導 上位級までの出題範囲を指導	【知識・技能】 表計算ソフトの各関数の理解 【思考・判断・表現】 表計算ソフトの各関数の適切な使用				38
	3. 検定受験級設定および受験指導	3. 各自が目標と設定する受験級の 試験内容を指導	【主体的に学習に取り組む態度】 自ら設定した課題に対する積極的な活動 周囲との協働的な学習取り組み	○	○	○	
2 学 期	4. ITパスポートレベルの学習 国家試験である上記対策として 各分野の学習指導	4. 知識学習 ・ストラテジ系学習 企業と法務 経営戦略 システム戦略 ・マネジメント系学習 開発技術 プロジェクトマネジメント サービスマネジメント ・テクノロジー系学習 基礎理論 技術要素 コンピュータシステム	【知識・技能】 各分野における知識理解 【思考・判断・表現】 各分野の学習の総合的な理解 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら設定した課題に対する積極的な活動 周囲との協働的な学習取り組み	○	○	○	50
3 学 期	5. レポート作成指導	5. レポートの提出 ・自分の研究課題を総合的に振り 返し、レポート作成に結ぶ指導	【知識・技能】 自ら研究した課題について、正しくまとめる 【思考・判断・表現】 自分がまとめたレポートを周囲に対して発表 【主体的に学習に取り組む態度】 互いの発表を元に話し合い、意見をまとめる	○	○	○	15
							合計
							105